

第1回「地域子どものくらし保健室」プロジェクト研修会

日時:2018年9月9日(日)10時~12時
 場所:愛媛大学医学部基礎第2講義室(東温市)
 講師:昭和大学大学院保健医療学研究所 准教授
 副島 賢和 先生
 参加者:62名

医療関係者24名・保健師1名・福祉関係者3名・教育関係者6名・企業1名
 病児の家族3名・学生14名・その他(保育士・歯科衛生士・経営者)10名

内容:「子どものニーズのとらえかた」~実際のかかわり~

子どものニーズの捉え方
 ~実際のかかわり~

~院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと~

副島 賢和
 昭和大学大学院保健医療学研究科准教授
 昭和大学病院内さいかち学級

地域子どものくらし保健室
 プロジェクト
 講演会
 ラ・ファミリエ

2018年9月9日(日) 10:00~12:00
 副島 賢和

子どものニーズの
 捉え方
 ~実際のかかわり~

~院内学級の子どもたちが
 教えてくれた大切なこと~

副島 賢和
 昭和大学大学院保健医療学研究科准教授
 昭和大学病院内さいかち学級

ご自分の文化に翻訳を<(_)>

- それぞれの文化がある
- 同じと違い
- 相手の文化を大切にすること
- ・ 病気による困難を抱えた子ども
 - ⇒ さまざまな疾病を抱えた子ども
 - ⇒ さまざまな状態や背景の子ども
 - ⇒ 偏つきを抱えた子ども
- ・ さいかち学級 ⇒ ご自分の学校・学級では…
 ご自分の病院では…
 ご家庭では…
 コミュニティでは…

病気をかかえた
 私たちには
 教育は
 必要ですか?

たった数日で
 何ができるの?

こんなときに
 勉強なんて…
 今は治療を…

元気になったらおいで!
 待っているからね。

『学び』を保障する

- ・ 教育関係者へ
 「学習空白を埋める」
 「学力を保障する」
 『学びを保障する』
- つな
 が
 る
- ・ 医療関係者へ
 「スムーズな退院
 社会復帰」
 『発達を保障する』

仲人 通訳

『学ぶことは生きること』
 日常をささえる…子どもにとっての当たり前

実際のかかわり 〇日目

さん 小学4年生 男児
 (ベッドサイド)
 病棟スタッフより
 ・ 入院の予定
 ・ 病棟での様子

- カーテンを閉めて過ごしている。
 話しかけても、ほとんど返答がない。
- コンタクトはとれなかった。

たとえ、1日でも
 1時間でも
 1回の出会いでも
 できることは
 ある。。。

NHK総合
 プロフェッショナル仕事の流儀
 「涙も笑いも、力になる」より

みなさんだったら
 どのようにかかわりますか?
 自分をあまり表現しない4年生の男の子
 幼いときから、何度も入退院をしている
 一週間のかかわり…

何を
 する?
 何に
 気を
 つける?

なぜそれをするのですか?

〇〇だから
 できること…

こどもの成長に必要なこと

- ・ Safety : 「安全・安心の確保」
- ・ Challenge : 「選択・挑戦」
- ・ Hope : 「日常の保障・将来の希望」

実際のかかわり 一日目

(3名参加)
朝 自己紹介カード 自己紹介
①国語：漢字ドリル
②算数：わり算の工夫
③音楽：トーンチャイム「君をのせて」
④検査・処置
休み時間（プラ板）

○初めはとても緊張をしている様子でしたが、自分の好きなことに対する集中力はとてもすばらしく、エネルギーが感じられました。自分の考えを小さな声で伝えてくれました。

安心を感じられる場を

- なぜ安心でなくてはいけないの？
「五感を発揮してもらうために」
- 安心な場って？
「比べない」
「受容はするが、許容はしない」

◇安心を感じるのための工夫を
◇支えてくれる人とつながって

実際のかかわり 二日目

(2名参加)
朝 詩「きみとぼく：大洲秋登」 パズル
①国語：漢字ドリル
②算数：わり算の工夫
③自立：パズル・ボードゲーム
④市民：冬の飾り
休み時間（パズル）

○学習へのつまづきはほとんど見られず、しっかりした文字を書き、算数も意欲的に取り組みます。他に子どもがいないときは声を出してゲームに取り組みました。

子どもたちが病気によって奪われるもの⇒痛み・苦しみ

- 安全感（今日と同じ明日が来る）
- 自由（行動、感情）
- 自主性（拒否、選択）
- かかわり（仲間）
- 愛着形成（保護者）
- 教育
- その子の時間

⇒子どもでなくなる

感情の喪失
関係性の喪失

たとえば4,5日のかかわりでも

『出会い』⇒安全・安心(Safety)

- 予備情報「病棟との連携」
- 顔見知りになる「病棟をまわる」
- 好きなこと、得意なことを知る（ベッドサイド・持ち物・自己紹介等）
- くらべないよ…「鎧を脱ぐ」

子どもたちへの教師の大切な4大かかわり

小林正幸（2008）

- 本人の好きなこと、得意なことを探りその面で付き合うようにする
- 本人が安心していられる場所を作る
- 活躍の場を与える
- 不安や緊張や怒りや嫌悪などの不快な感情を言葉で表現できるようにする

たとえば4,5日のかかわりでも

『かかわり』⇒心地よさ・挑戦(Challenge)

- 持って帰ってもらいたいことや植えたい種は何か？
- 子どもたちの優先順位第一位は治療
- こどもがこどもでいられるように
- 「さいかち10と5つの視点」「教師の4大かかわり」

子どもでいられる子どもにもどす

実際のかかわり 三日目

(4名参加)
歌 「世界中の子どもたち」
①算数：わり算の工夫
②国語：詩「そうだったらいい」
③市民：冬の飾り完成
④理科：実験「もののあたたまり方」
休み時間（パズル）

○詩「そうだったらいい」に取り組む。「早く」という題名で書きました。お家に帰りたいことを書いてくれました。学校のことや友だちのことも書いてみたいです。午後はお母さんと一緒に過ごしてくれました。

肯定的な自己イメージ（自尊感情）を育てたい。

社会的自尊感情 できるわかる Doing

基本的自尊感情 自分が大切 Being

子どもたちのSOSはどこに現れますか？

不安・悲しみ・さびしさ・怒り・恥
⇒表情・目線・しぐさ・行動・言葉・雰囲気・変化…

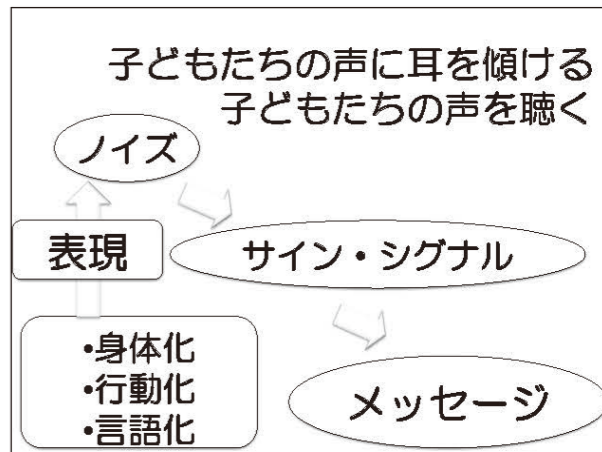
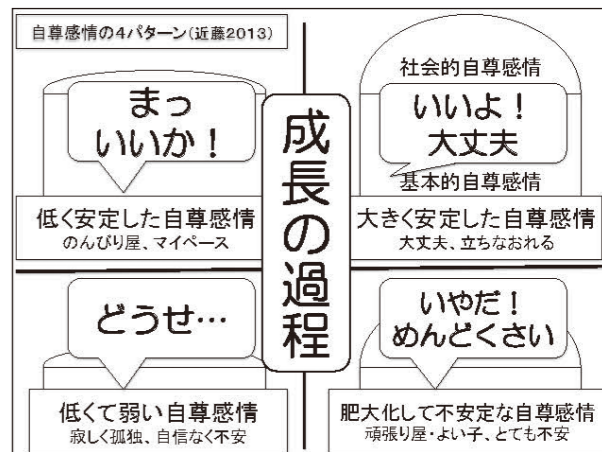
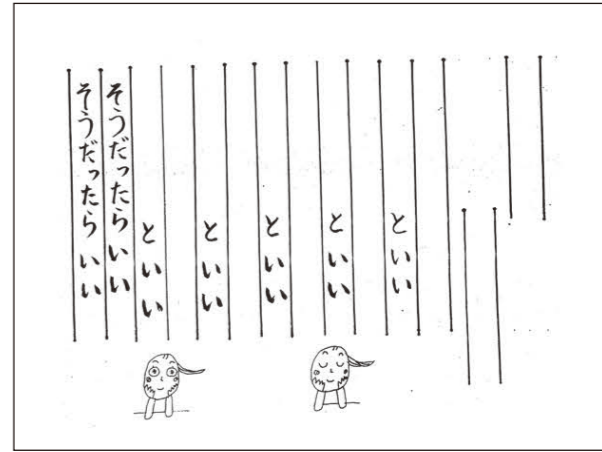
○はじめは…
ちいさく、やさしく、かわいくでも、だんだん激しさを増すタイプでも、だんだん閉じていくタイプ

『そうですね』ゲーム

- 二人組になります。
- 「<-」Aさん 「>-」Bさん

一回目
・Aさん：「あれは、〇〇ですね。」
・Bさん：「そうですね。」

交代
・Bさん：「あれは、〇〇ですね。」
・Aさん：「そうですね。」



話の聴き方「あいうえお」

あ・・・あいてをみて
い・・・いっしょうけんめい
う・・・うなずきながら
え・・・えがおで
お・・・おわりまで

人とかわる心地よさ

「聴く」もちろん内容は大切... そのベースにあるのは...

なぜその行動を
せざるを
得なかったのか？

なぜその気持ちを
持たざるを
得なかったのか？

内的世界
「表現がない…」
その人の内的な世界の存在を
否定する理由にはならない
【豊かな内的世界の存在を信じる】
【内的世界を受けとれていない私】
↓
伝えてもらえる、受け取れる私になる
引っかかりを大切にできる私

不登校のきっかけ
不登校に関する実態調査平成18年度不登校生徒に関する追跡調査報告書
文部科学省

友人関係をめぐる問題	53.7%
学業の不振	31.6%
教師との関係をめぐる問題	26.6%
部活動	23.1%
入学・転校・進級でなじめない	17.3%
病気をしてから	14.9%
親子関係をめぐる問題	14.4%
特に思いあたることはない	5.6%

どんな感情も大切に！

子どもたちの感情を
特に不快な感情を
言語化するようにし
感情の適切な扱い方を伝える
かかわりをする

「ないはずのもの」が
「ある」とき

「あるはずのもの」が
「ない」とき

実際のかかわり 四日目
(3名参加)
詩 「おならはえらい：まどみちお」
①国語：漢字テスト
詩「そうだったらいい」 清書
②算数：わり算の工夫
休み時間（ゲーム）

○学級に最初に来てくれた時よりも、言葉を
発する場面が増えました。詩に言葉をつづる
ときも、一言一言じっくり考えて想いをのせ
ていました。明日の退院をとてもうれしそ
うに知らせてくれました。

院内学級で大切にしていること

どんな
感情も
大切にね

あなたは
ひとり
じゃない
よ

感情に良い悪いはありません

どんな感情も
大切にしているのです

ただね
伝え方は学んでください！

感情を適切に扱えないと…

不適応行動
周りを困らせるための
行動ではなく

「困っている…」
と伝えている行動

**受容はするが
許容はしない**

受容：感情を受けとめること
許容：行動を容認すること

『やりたくない』…
嫌なんだね。うまくいかない気がする
んだね。。
…さあ、やろうか。。


『やりたくないとやらないの距離』

たとえ4,5日のかかわりでも

『わかれ（復帰）』
⇒つながり・希望(Hope)

- 受け入れ先への安心感
- 復帰後の見通し
- 納得できる物語をもつための種
- ひとりじゃないよ「またね」

今日という日は、
だれにとっても
はじめての日
なのだから…

あかはなそえじ 

感情表出への理解

「怒り」…他者や周囲に変わってほしいという
願い。

「悲しみ」…苦境を分かち合ってほしい。
助けてほしい。という訴え。

「喜び」…誰かと分かち合うことで加速される。

「恐怖や不安」…問題があり、それを解消しな
ければならないという強い願い。

→どんな感情ももっていていいんだよ

実際のかかわり 五日目
(5名参加)
歌 「世界中の子どもたち」
①市民：プラ板 文字ぴったん
②国語：感想
お昼（ベッド）「学校が…」
午後（ゲーム）「この人も入れて…」
退院

○退院前に、学校に戻るのが不安なことを母
親も知っていることがわかり、私の感覚と一
致していました。確認をできてほっとしまし
た。次回の外来で顔を見せてくれるそうです。

そこにいるだけで すてきなこと…

助けて！って 言っていい

失敗したって
いい

あなたは
あなたのままでいい

あのことがあったから
今の自分がある…

病気を抱えた子どもたちは
どこにいますか？

・入院期間の短期化
・治療率、寛解率、生存率up
慢性疾患の子どもの7～8割は、
家庭、幼稚園、保育園、学校に…（貧困等）
共に生きる
子どもたちを
育むために

*30年で約一万八千人が約五千人に…死亡数
*小児慢性特定疾患：現在16疾患756疾病
成人難病指定：331疾病（H30～）
*病気を抱えた保護者の子どもたちもいる。